

取組みの方向性の変更点について

変更点

- ① 「Ⅲ 多様な関係者との連携・協力と社会貢献」を分離⇒「取組みに当たり重視すべき視点」
- ② 「3.自然災害や多様なリスクへの対応強化」を大柱として独立
- ③ 「見出し」を簡潔な表現に変更

前回（第2回検討委員会時）

I 水道システム最適化に向けた施設整備と運用・管理	
1. 水道システムの最適化に向けた施設整備と運用	<ul style="list-style-type: none"> ① 構成団体浄水場廃止等を見据えた企業団浄水場と管路等の整備 ② 水道水供給の更なる効率化・安定化を目指した水源の確保 ③ より安全で良質な水道水を送り続けるための管理値による水質評価の活用 ④ 県内水道水の品質管理水準の向上に向けた広域水質管理センターの更なる活用
2. 施設の健全性を保つための点検と計画的な更新・修繕	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設管理システムを活用した効率的な点検と優先度を考慮した更新修繕 ② 水道施設を停止せずに部分的な更新・修繕を可能にするための施設改良 ③ 優先度を踏まえた計画的な管路の更新及び送水連絡管の整備
3. 自然災害や多様なリスクへの対応強化	<ul style="list-style-type: none"> ① 自然災害・停電・テロなど多様なリスクへの対応力強化 ② 多様な原水水質に対応できる浄水処理方法の検討
II 事業推進のための経営基盤強化	
4. 計画的な投資を支える財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ① 経営改善に向けた経営姿勢の堅持 ② アセットマネジメントの実践による計画的な投資と収支の均衡 ③ 将来負担を見据えた企業債の発行と事業推進に必要な補助金の獲得 ④ 中長期的視点に立った料金のあり方の検討
5. 事業を支える職員の確保と組織体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業推進に必要な職員の継続的な確保 ② 専門的技術をもち多様な課題に自発的に行動できる人材の育成 ③ 業務効率を高めるための職場環境の整備と業務管理体制の強化
III 多様な関係者との連携・協力と社会貢献	
6. 水道水の源である自然環境保全への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ① 良質な水道原水の確保に向けた健全な水循環の維持・回復への貢献 ② 再生可能エネルギーの導入等による地球温暖化対策への貢献
7. 理解・協力を得るための情報提供と多様な関係者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ① 民間企業が持つ技術の活用に向けた官民連携の推進 ② 水道事業に関する課題解決に向けた国内外の事業体等との連携・協力 ③ 県民・市民や多様な関係者に向けた情報発信による企業団事業への理解促進

② 独立

① 分離

今回（第3回検討委員会時）

I 水道システム最適化に向けた施設整備と運用・管理	
I - 1. より安全で効率的な水道システム構築に向けた施設整備と運用	<ul style="list-style-type: none"> ① 浄水場の増強と管路等の整備 ② 効率的かつ安定的な水運用と原水の確保 ③ 浄水処理と水質管理の強化
I - 2. 施設の健全性を保つための点検と計画的な修繕・更新	
	<ul style="list-style-type: none"> ① 効率的な点検と計画的な修繕・更新 ② 施設の維持管理性向上
II 自然災害や多様なリスクへの対応強化	
	<ul style="list-style-type: none"> ① 自然災害・多様なリスクに備えた施設整備 ② 組織対応力及び関係者との連携の強化
III 経営基盤の強化	
III - 1. 将来を見据えた財政・事業運営	<ul style="list-style-type: none"> ① 長期的な視点に立った財政運営 ② 事業環境の変化に応じた事業運営
III - 2. 事業推進に必要な人材の確保・育成と職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 人材の確保・育成 ② 働きやすい職場づくり

③ 簡潔な表現に

取組みにあたり重視すべき視点	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境への貢献 ○ 先端技術の導入 ○ 多様な関係者との連携協力 ○ 分かりやすい情報の発信 	